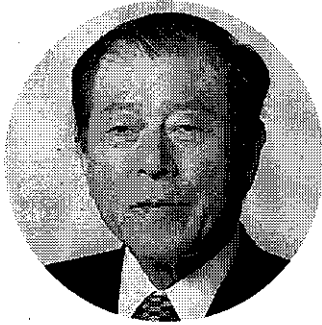


環境白書の刊行にあたって



富山県は、立山連峰や黒部峡谷などの世界的な山岳景観や蟹気楼がみられる不思議の海富山湾、さらには本州一を誇る植生自然度など、豊かな水と緑に恵まれています。これらの素晴らしい環境を守り、育て、次の世代に引き継いでいくことは、現代に生きる私たちの責務であり、県民すべての願いです。

しかしながら、今日の環境問題は、都市・生活型公害や廃棄物による環境負荷の増大に加え、地球温暖化や酸性雨等の地球環境問題、ダイオキシン類をはじめとする有害化学物質による環境汚染など、複雑・多様化しています。

これらの諸問題は、私たちの日常生活、産業活動に密接な関係があり、21世紀を「環境の世紀」とするためには、大量生産・大量消費・大量廃棄といった社会経済システムやライフスタイルのあり方を見直し、持続的発展が可能な循環型社会を築いていくことが極めて重要です。

このため、本県では昨年策定した新しい総合計画「富山県民新世紀計画」に「環境立県」を掲げ、県民、企業、行政が協力しながら、豊かな環境の保全と創造に全力を尽くしているところです。

この白書は、平成13年度における本県の環境の状況と環境施策を中心に取りまとめたものです。本書を通じて、多くの県民の皆様が環境問題への関心を一層高めていただければ幸いです。

平成14年9月

富山県知事 中 沖 豊

目 次

総 論	1
第1章 環境の状況並びに環境の保全及び 創造に関して講じた施策	17
第1節 基本的施策の推進	18
1 環境基本条例	18
2 環境基本計画	20
第2節 安全で健康な生活環境の確保	23
1 健康で快適な大気環境の確保	23
(1) 大気環境の状況	23
(2) 大気環境の保全対策	27
2 豊かで清らかな水環境の確保	36
(1) 水環境の状況	36
(2) 水環境の保全対策	41
3 健やかで豊かな生活を支える土壌環境と地下水の確保	49
(1) 土壌環境と地下水の状況	49
(2) 土壌環境と地下水の保全対策	53
4 騒音、振動のないやすらかな環境の実現	62
(1) 騒音、振動の状況	62
(2) 騒音、振動の防止	62
5 化学物質による環境汚染の防止	66
(1) 化学物質による環境汚染の状況	66
(2) 化学物質による環境汚染防止対策	67
6 公害被害等の防止と解決	75
(1) 公害被害等の状況	75
(2) 公害被害等の防止対策	75

第3節 環境への負荷が少ない循環型社会の構築	79
1 循環型社会システムの推進	79
2 廃棄物の減量・リサイクルの推進	81
(1) 廃棄物の減量・リサイクルの状況	81
(2) 廃棄物の減量・リサイクルの推進	86
3 廃棄物の適正な処理	91
(1) 廃棄物処理の状況	91
(2) 廃棄物の適正処理対策	94
4 省資源・省エネルギーの推進	104
(1) 省資源・省エネルギーの状況	104
(2) 省資源・省エネルギー対策	105
第4節 自然と共生したうるおいのある環境の実現	106
1 すぐれた自然環境の保全	106
(1) 自然環境の状況	106
(2) 自然環境の保全対策	111
2 自然とのふれあいの確保	113
(1) 自然とのふれあいの状況	113
(2) 自然とのふれあいの確保	116
3 生物多様性の確保	119
(1) 生物多様性の状況	119
(2) 生物多様性の確保	126
第5節 快適な環境づくり	129
1 県土美化推進運動の展開	129
2 心地よい水辺環境の創造	131
(1) 水辺環境の状況	131
(2) 心地よい水辺環境の確保	132
3 里や街における豊かな緑の保全と創造	132
(1) 里や街における緑の状況	132
(2) 里や街における豊かな緑の確保	133

4	ゆとりのある空間と美しい景観の創造	134
(1)	景観の状況	134
(2)	ゆとりのある空間と美しい景観の整備	135
5	歴史や文化をいかした街づくり	136
(1)	街づくりの状況	136
(2)	歴史や文化をいかした街づくり対策	137
6	快適トイレの推進	138
(1)	快適トイレ推進プランの推進	138
(2)	快適なトイレの整備	139
第6節	地球環境の保全への行動と積極的貢献	140
1	地球環境保全のための対策の推進	140
(1)	地球環境問題の状況	140
(2)	地球環境の保全対策	143
2	国際環境協力と環日本海地域の環境保全	149
(1)	国際環境協力と環日本海地域の環境保全の状況	149
(2)	国際環境協力の推進と環日本海地域の環境保全対策	149
3	北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)の推進	150
(1)	NOWPAPの状況	150
(2)	NOWPAPの推進	151
4	日本海学の推進	152
(1)	日本海学の概要	152
(2)	日本海学の推進	153
第7節	環境の保全及び創造に向けたみんなの行動	154
1	環境保全活動へのみんなの参加	154
(1)	環境保全活動の状況	154
(2)	環境保全活動の推進	156
2	環境問題の理解と対応のための教育・学習	157
(1)	環境教育・学習の状況	157
(2)	環境教育・学習の推進	158

第8節 総合的視点で取り組む環境の保全と創造	159
1 環境問題の解決に向けた公害防止計画	159
(1) 公害防止計画の状況	159
(2) 公害防止計画の推進	159
2 事業実施に当たっての環境への影響評価の推進	160
(1) 環境影響評価条例の概要	160
(2) 環境影響評価条例等の運用	161
(3) 公害防止協定と事前協議	164
(4) 土地対策要綱等に基づく指導	164
3 環境の保全及び創造を支える調査研究等の推進	164
第2章 平成14年度において講じようとする	
環境の保全及び創造に関する施策	167
1 基本的施策の推進	167
2 安全で健康な生活環境の確保	167
(1) 健康で快適な大気環境の確保	167
(2) 豊かで清らかな水環境の確保	168
(3) 健やかで豊かな生活を支える土壌環境と地下水の確保	169
(4) 騒音、振動のないやすらかな環境の実現	170
(5) 化学物質による環境汚染の防止	170
(6) 公害被害等の防止と解決	171
3 環境への負荷が少ない循環型社会の構築	172
(1) 循環型社会システムの推進	172
(2) 廃棄物の減量・リサイクルの推進	173
(3) 廃棄物の適正な処理	174
(4) 省資源・省エネルギーの推進	176
4 自然と共生したうるおいのある環境の実現	176
(1) すぐれた自然環境の保全	176
(2) 自然とのふれあいの確保	177
(3) 生物多様性の確保	179

5	快適な環境づくり	180
(1)	県土美化推進運動の展開	180
(2)	心地よい水辺環境の創造	180
(3)	里や街における豊かな緑の保全と創造	181
(4)	ゆとりのある空間と美しい景観の創造	182
(5)	歴史や文化をいかした街づくり	183
(6)	快適トイレの推進	183
6	地球環境の保全への行動と積極的貢献	184
(1)	地球環境保全のための対策の推進	184
(2)	国際環境協力の推進と環日本海地域の環境保全	185
(3)	北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)の推進	186
(4)	日本海学の推進	187
7	環境の保全及び創造に向けたみんなの行動	187
(1)	環境保全活動へのみんなの参加	188
(2)	環境問題の理解と対応のための教育・学習	188
8	総合的視点で取り組む環境の保全及び創造	189
(1)	環境問題の解決に向けた公害防止計画	190
(2)	事業実施に当たっての環境への影響評価の推進	190
(3)	環境の保全及び創造を支える調査研究等の推進	190

資料編

第1 図表

(1)	安全で健康な生活環境の確保	193
表2-1	一般環境観測局の概要(14年3月31日現在)	193
表2-2	二酸化硫黄濃度の年度別推移(年平均値)	194
表2-3	二酸化硫黄に係る環境基準の達成状況	195
表2-4	二酸化窒素濃度の年度別推移(年平均値)	196
表2-5	二酸化窒素に係る環境基準の達成状況	197
表2-6	浮遊粒子状物質濃度の年度別推移(年平均値)	198

表 2 - 7	浮遊粒子状物質に係る環境基準の達成状況	199
表 2 - 8	光化学オキシダント濃度の年度別推移 (年平均値)	200
表 2 - 9	光化学オキシダントに係る環境基準の達成状況	201
表 2 - 10	環境大気基礎調査結果 (13年度)	202
表 2 - 11	自動車排出ガス観測局の概要 (14年 3 月 31 日現在)	203
表 2 - 12	自動車排出ガス濃度の年度別推移 (年平均値)	204
表 2 - 13	自動車排出ガス濃度の環境基準の達成状況	205
表 2 - 14	自動車排出ガス環境調査結果 (13年度)	206
表 2 - 15	ばい煙発生施設数の年度別推移	207
表 2 - 16	大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設の 届出状況 (14年 3 月 31 日現在)	208
表 2 - 17	大気汚染防止法に基づく一般粉じん発生施設の 届出状況 (14年 3 月 31 日現在)	209
表 2 - 18	大気関係立入検査状況 (13年度)	210
表 2 - 19	大気汚染緊急時の措置	211
表 2 - 20	燃料使用量の年度別推移	213
表 2 - 21	県内の自動車保有台数の年度別推移	214
図 2 - 1	悪臭苦情の発生源別推移	214
表 2 - 22	公害防止条例に基づく悪臭の届出工場・事業場の 概要 (14年 3 月 31 日現在)	215
表 2 - 23	悪臭実態調査結果 (13年度)	215
表 2 - 24	畜産環境保全実態調査結果 (13年 7 月 1 日現在)	216
表 2 - 25	畜産農家の巡回指導等の実施状況 (13年度)	216
表 2 - 26	各種助成制度に基づく 家畜ふん尿処理施設設置実績 (13年度)	216
表 2 - 27	公共用水域の水域別測定地点数 (13年度)	217
表 2 - 28	地下水の水質測定地点数 (13年度)	218
表 2 - 29	水質常時監視所の概要	219

表2-30	河川の主要測定地点（環境基準点）における 水質測定結果（13年度）	219
表2-31	河川末端における水質（BOD）の年度別推移	221
表2-32	湖沼の主要測定地点（環境基準点）における 水質測定結果（13年度）	222
表2-33	湖沼における水質（COD、全りん）の年度別推移	222
表2-34	海域の主要測定地点（環境基準点）における 水質測定結果（13年度）	223
表2-35	海域における水質（COD）の年度別推移	224
表2-36	地下水の定期モニタリング（環境監視）調査結果（13年度）	225
表2-37	地下水の定期モニタリング（汚染井戸）調査結果（13年度）	226
表2-38	汚染井戸における水質の年度別推移	227
表2-39	水質汚濁防止法に基づく 特定事業場数（14年3月31日現在）	228
表2-40	水環境保全活動推進事業の実績（13年度）	229
表2-41	水質関係立入調査状況（13年度）	230
表2-42	公共用水域の主要測定地点における 全窒素・全りんの水質測定結果（13年度）	231
表2-43	河川の主要測定地点における 要監視項目測定結果（13年度）	233
表2-44	湖沼水質調査結果（13年度）	234
表2-45	海水浴場水質調査結果（13年度）	235
表2-46	重金属底質調査結果（13年度）	235
表2-47	河川底質（PCB）調査結果（13年度）	236
表2-48	工場周辺底質（PCB）調査結果（13年度）	236
表2-49	工場周辺地下水調査結果（13年度）	236
表2-50	立山環境調査（河川等環境調査）結果（13年度）	237
表2-51	水生生物調査結果（13年度）	238

表 2-52	公共下水道及び特定環境保全公共下水道の概要 (13年 3月31日現在).....	239
図 2-2	下水道の普及率の推移	240
表 2-53	農村下水道の整備状況 (13年 3月31日現在).....	241
表 2-54	コミュニティ・プラントの整備状況 (14年 3月31日現在).....	242
表 2-55	合併処理浄化槽設置整備事業の状況	242
図 2-3	定置網漁場における調査指導事業関係概況地図	243
表 2-56	漁場環境調査定点別の最大値・最小値および平均値(13年度)	244
表 2-57	玄米及び土壌中カドミウム濃度 (神通川流域).....	245
表 2-58	対策地域内の玄米及び土壌中カドミウム濃度 (神通川流域).....	245
表 2-59	玄米及び土壌中カドミウム濃度 (黒部地域).....	245
表 2-60	対策地域内の玄米及び土壌中カドミウム濃度 (黒部地域).....	246
表 2-61	神通川流域における土地利用区分と面積 (実測).....	246
表 2-62	神通川流域における第1～3次地区の復旧方式等	246
表 2-63	公害防止事業に係る費用負担計画の概要 (神通川流域).....	247
表 2-64	神通川流域における公特事業の計画面積	247
表 2-65	神通川流域における14年度に作付可能な面積	248
表 2-66	黒部地域における土地利用区分と面積 (実測).....	248
表 2-67	黒部地域における対策地域の復旧方式等	248
表 2-68	公害防止事業に係る費用負担計画の概要 (黒部地域).....	249
表 2-69	地下水観測井の位置と構造	250
表 2-70	地下水位年平均値の年度別推移	251
図 2-4	主な観測井の地下水位 (月平均).....	252
図 2-5	塩素イオン濃度分布 (13年度).....	255
表 2-71	地下水条例に基づく揚水設備の届出状況	256
表 2-72	地下水採取状況 (13年度).....	257
図 2-6	騒音・振動苦情の発生源別推移	258

図 2 - 7	環境騒音の環境基準達成状況 (13年度).....	258
表 2 - 73	自動車交通騒音の環境基準達成状況 (13年度).....	259
表 2 - 74	道路に面する地域の環境騒音調査結果 (13年度).....	259
表 2 - 75	高速道路騒音の調査結果 (13年度).....	260
表 2 - 76	航空機騒音の年度別推移	260
表 2 - 77	北陸新幹線建設予定地周辺における 環境騒音・振動の実態調査 (13年度、14年度).....	261
表 2 - 78	騒音規制法に基づく特定施設の 届出状況 (14年 3 年31日現在).....	262
表 2 - 79	条例に基づく騒音の届出工場・事業場の 状況 (14年 3 年31日現在).....	263
表 2 - 80	騒音関係立入検査状況 (13年度).....	263
表 2 - 81	道路交通振動の調査結果 (13年度).....	264
表 2 - 82	振動規制法に基づく特定施設の 届出状況 (14年 3 年31日現在).....	265
表 2 - 83	振動関係立入検査状況 (13年度).....	266
表 2 - 84	ダイオキシン類環境調査結果 (13年度).....	266
表 2 - 85	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく 特定施設の届出状況 (14年 3 年31日現在).....	271
表 2 - 86	有害大気汚染物質の調査概要 (13年度).....	273
表 2 - 87	その他優先取組物質の調査結果 (13年度).....	273
表 2 - 88	ゴルフ場排水の農薬調査結果 (13年度).....	274
表 2 - 89	農薬使用総量 (13年度).....	275
表 2 - 90	魚介類の水銀検査結果 (13年度).....	275
表 2 - 91	食品中の P C B 検査結果 (13年度).....	276
表 2 - 92	公害審査会に係属した事件	277
表 2 - 93	公害種類別苦情受理状況の年度別推移	277
表 2 - 94	発生源別苦情受理状況 (13年度).....	278
表 2 - 95	市町村別苦情受理状況 (13年度).....	279

表 2-96	苦情の処理状況 (13年度).....	280
表 2-97	「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づく 指定の内容	281
表 2-98	市町村別イタイイタイ病患者及び 要観察者生存数 (14年 3 年31日現在).....	281
(2)	環境への負荷が少ない循環型社会の構築	281
表 2-99	ごみ処理状況の年度別推移	281
表 2-100	容器包装リサイクル法に基づく分別収集量の年度別推移	282
表 2-101	家電リサイクル法に基づく 廃家電品の引取り台数 (13年度).....	282
図 2-8	産業廃棄物の地域別発生量 (12年度).....	283
表 2-102	多量排出事業者の処理計画書の提出状況 (13年度).....	283
表 2-103	ごみ処理施設の整備状況 (14年 3 年31日現在).....	284
表 2-104	し尿処理状況の年度別推移	285
表 2-105	し尿処理施設の整備状況 (14年 3 年31日現在).....	286
表 2-106	P C B 特別措置法に基づく届出状況 (13年 7 月15日現在).....	287
表 2-107	産業廃棄物処理施設の許可 (届出) 状況 (14年 3 年31日現在).....	287
(3)	自然と共生したうるおいのある環境への実現	288
表 2-108	国立公園内における工作物の新築等に係る 許認可取扱状況 (13年度).....	288
表 2-109	国定公園内における工作物の新築等に係る 許認可取扱状況 (13年度).....	288
表 2-110	県立自然公園内における工作物の新築等に 係る許認可取扱状況 (13年度).....	288
表 2-111	富山県自然環境保全基金による土地保有状況 (14年 3 年31日現在).....	289

表2-112	立山山麓家族旅行村の主要施設	290
表2-113	とやま・ふくおか家族旅行村の主要施設(富山県整備分)	290
表2-114	登山届出及び遭難事故の概要 (13年12月1日~14年5月15日)	291
表2-115	自然公園等における主たる施設整備実績(13年度)	291
表2-116	愛鳥週間行事(13年度)	292
表2-117	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する 法律」による種の指定状況(14年3月31日現在)	293
表2-118	野生鳥獣の救護活動実績(13年度)	294
表2-119	有害鳥獣駆除状況(13年度)	294
表2-120	狩猟者登録の実績(13年度)	295
(4)	快適な環境づくり	296
表2-121	県民公園新港の森の概要	296
表2-122	県民公園新港の森施設利用状況	296
表2-123	空港スポーツ緑地の概要	297
表2-124	空港スポーツ緑地施設利用状況	297
(5)	地球環境の保全への行動と積極的貢献	298
表2-125	酸性雨実態調査の概要(13年度)	298
表2-126	雨水のpH調査結果(13年度)	299
表2-127	雨水のpHの年度別調査結果(一週間降雨毎)	299
図2-9	主要イオン成分降下量、降水量の月別推移(13年度)	300
図2-10	主要イオン成分降下量の経年変化	301
図2-11	縄ヶ池におけるpH及びアルカリ度の経年変化	302
表2-128	森林地におけるpH調査結果(13年度)	302
表2-129	財環日本海環境協力センター(NPEC)の 事業概要(13年度)	303
表2-130	環日本海地域との相互派遣事業の概要(13年度)	305

(6) 環境の保全及び創造に向けたみんなの行動	307
表 2-131 主な環境月間行事 (13年度)	307
表 2-132 「親子の水とのふれあいバス教室」の開催状況 (13年度)	307
表 2-133 環境保全相談室の活動状況 (13年度)	307
表 2-134 中小企業環境施設整備資金融資制度の概要	308
表 2-135 中小企業環境施設整備資金融資実績の年度別推移	309
表 2-136 中小企業環境施設整備資金の融資実績 (施工地市町村別)の推移	310
表 2-137 公害防止施設等に対するその他融資制度の実績の推移	311
表 2-138 公害防止管理者等の選任届出状況 (14年3月31日現在)	311
(7) 総合的視点で取り組む環境の保全と創造	312
表 2-139 富山・高岡地域公害防止計画の概要	312
表 2-140 富山県環境影響評価要綱に基づく環境影響評価の 実施状況	312
表 2-141 県が企業と締結している公害防止協定	313
図 2-12 環境情報管理システムの構成と処理機能	313
表 2-142 環境保全に関する試験・研究 (環境科学センター、衛生研究所、 工業技術センター、農業技術センター農業試験場、水産試験場、 林業技術センター林業試験場、畜産試験場)	314
第 2 日誌 (13年度)	319
第 3 富山県環境関係行政組織図	322
第 4 富山県環境関係附属機関	323
第 5 富山県環境関係分掌事務	324
第 6 市町村環境関係担当課一覧	327
第 7 環境用語の説明	328